

特別展

大妻女子大学日本文学関係貴重書展示

梶井基次郎とその時代



(一) 櫛櫛

これゝつと思ひし
へ来るうゝおー

とらゝとせひか
とらゝとせひか

さーさうねし
さーさうねし

とらゝとせひか
とらゝとせひか

2024 6.2日 → 7.6日



大妻女子大学所蔵の貴重書の中から、
梶井基次郎を中心に、1920年代から30
年代に活動した作家たちの自筆原稿や
単行本を展示します。

開館日：月曜～土曜（日祝休館）

※オープンキャンパス(6月2日(日))は
開館します

開館時間：午前10時～午後4時30分

主催：大妻女子大学博物館

共催：大妻女子大学図書館

大妻女子大学草稿・テキスト研究所

大妻女子大学文学部日本文学科

大妻女子大学短期大学部国文科

〒102-8357

東京都千代田区三番町12 図書館棟地下1階

Tel 03-5275-5739

URL <https://www.museum.otsuma.ac.jp/>

大妻女子大学博物館

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY MUSEUM

土曜モ
開館

シテ居リマス

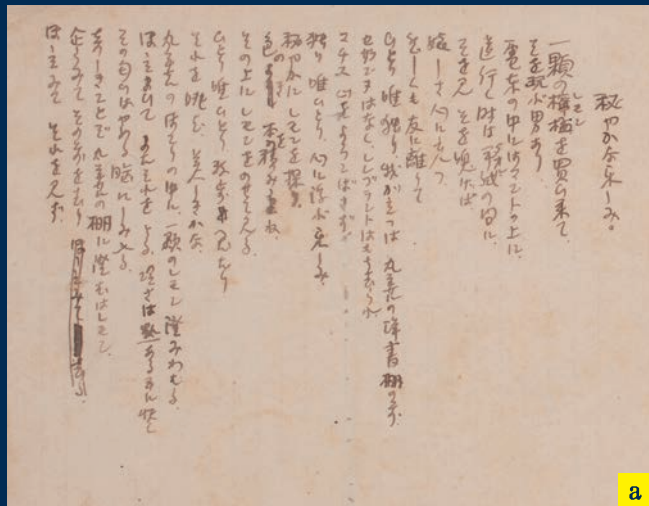
画像：「梶井基次郎」国立国会図書館「近代日本人の肖像」より／「梶井基次郎書簡」（部分）大妻女子大学図書館所蔵



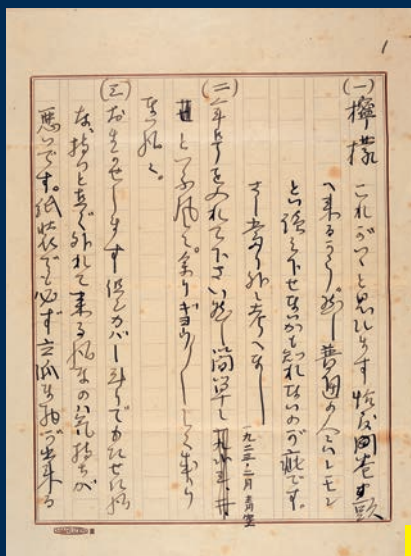
e



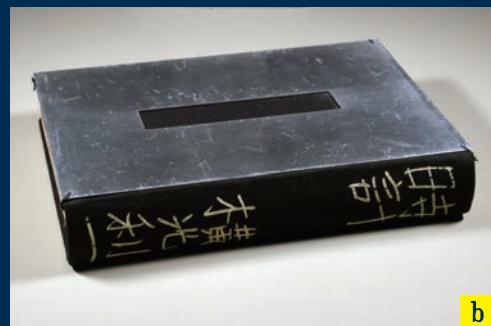
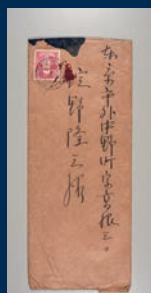
c



a



d



b



f

特別展
大妻女子大学日本文学関係貴重書展示
梶井基次郎とその時代

大妻女子大学では、文学部日文学科と短期大学部国文科の教員を中心として、日本文学に関する貴重な資料を収集してきました。その資料は、大妻女子大学図書館および草稿・テキスト研究所に所蔵され、研究と教育に活用されています。

通算七回目を数える今回の「大妻女子大学日本文学関係貴重書展示」では、作家梶井基次郎（一九〇一—一九三二）の自筆原稿・書簡を中心とし、彼が活躍した一九二〇年代から三〇年代当時の他作家たちの自筆原稿や単行本も併せて展示します。創作過程の一端がうかがえるのと同時に、当時の文学の多彩なありようを垣間見ることができこれらの資料を、この機会にぜひご堪能下さい。

- a. 梶井基次郎「秘やかな楽しみ」（自筆原稿）大妻女子大学図書館所蔵
- b. 横光利一『時計』大妻女子大学図書館所蔵
- c. 谷崎潤一郎『春琴抄』大妻女子大学図書館所蔵
- d. 梶井基次郎書簡「昭和6年2月13日付淀野隆三宛」大妻女子大学図書館所蔵
- e. 萩原朔太郎「猫町」大妻女子大学図書館所蔵
- f. 吉屋信子『花物語』大妻女子大学図書館所蔵

SNS 公式アカウント

f 大妻女子大学博物館

@otsuma_museum

@otsuma_museum



〒102-8357 東京都千代田区三番町12 図書館棟地下1階
Tel 03-5275-5739

URL <https://www.museum.otsuma.ac.jp/>

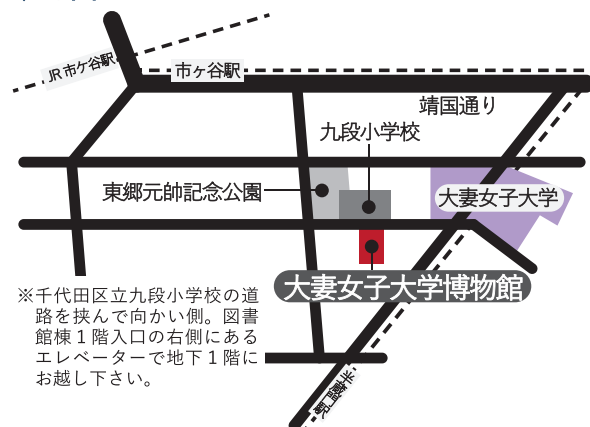
大妻女子大学博物館

OTSUMA WOMEN'S UNIVERSITY MUSEUM

◇最寄り駅

JR 総武線「市ヶ谷駅」徒歩 10 分
東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷駅」（A3 出口）徒歩 7 分
都営新宿線「市ヶ谷駅」（A3 出口）徒歩 7 分
東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」（5 番出口）徒歩 7 分

◇地図



※千代田区立九段小学校の道路を挟んで向かい側。図書館棟1階入口の右側にあるエレベーターで地下1階にお越し下さい。